

# 令和4年度 “ふじのくに”<sup>しみん</sup>士民協働 施策レビュー 改善提案とりまとめシート

## 1 基本情報

政策	政策7 誰もが活躍できる社会の実現 政策9 多彩なライフスタイルの提案
政策の柱	7-1 活躍しやすい環境の整備と働き方改革 9-2 新しい働き方の実践
議論した施策	7-1 (1)産業人材の確保・育成 (2)誰もがいきいきと働ける環境づくり 9-2 (2)自らのライフスタイルに合った働き方を選択できる環境づくり
実施日/班名	9月10日(土) 第3班
担当部局名	経済産業部 就業支援局

## 2 コーディネーター取りまとめコメント（コーディネーターが議論を総括して取りまとめ）

産業人材の確保・育成と働き方について、課題として大きく3つ挙げられた。

一つ目は人材確保<sup>①</sup>である。企業と求職者双方のニーズを把握したマッチングに加え、キャリアアップや、やりがいを育める制度設計<sup>②</sup>がされる必要がある。

二つ目は中小企業への支援<sup>③</sup>と働き方である。働きやすい環境づくりへの支援や経営者の意識改革、多様化するライフスタイルに合わせた様々な働き方が可能となるよう、支援<sup>④</sup>することが必要である。

三つ目は情報発信<sup>⑤</sup>である。情報を必要とする人に対し、的確に情報が伝わる必要がある。

## 3 施策改善案（県民評価者が記載した改善提案シートの取りまとめ）

- ①人材の確保に向け、県内企業が就職先として選ばれるよう、インターンシップなどの仕事を知ってもらう機会の充実が必要である。
- ②仕事に対してやりがいを感ぜられることは、人材の定着のために重要である。企業の中で個人の仕事が評価され、キャリアアップすることができる制度の導入のための支援が必要である。
- ③多様化するライフスタイルに合わせた様々な働き方が可能な職場環境の整備のため、中小企業に対するアドバイザー派遣などの支援の充実が必要である。
- ④共働き世代や子育て世代、女性等、様々な人が働きやすい、多様で柔軟な職場環境づくりを進めるため、働く人たちが必要としている制度の導入の必要性を経営者に理解してもらえよう支援する必要がある。
- ⑤企業情報や静岡で働くことの魅力、あるいは県が既に進めている取組が、県内外の多くの人に伝わるよう、様々なツールやコミュニティを活用することが必要である。また、必要な情報が必要とする相手に的確に届くよう内容を精査し、ターゲットを絞り込んだPRが必要である。